

MWE2009 Microwave Workshops & Exhibit について

特別編集顧問 北爪 進

1. 概要

11月25日～27日パシフィコ横浜アネックスホール、展示ホール D にて開催された MWE2009 Microwave Workshops & Exhibit に一部参加する機会を得たのでその概要を報告する。

電子情報通信学会が主催する APMC (アジア太平洋地域マイクロ波国際会議) が4年に1回日本で開催されている。MWE はこの国際会議日本開催の間の3年間に毎年マイクロ波技術に関する Workshop と展示会を開催して、次の APMC に継承している。その結果展示収入から得られた資金を特別会計として APMC 国際会議準備金繰入基金に提供している。今年の Workshops は基調講演に引き続き5つの基礎講座、1つの特別セッションと19のワークショップで構成され、更に出展企業セミナーが行われた。展示コーナーでは企業展示の他に特別企画展示、特別企画セミナー、大学展示コーナーが企画展示された。電子通信とその関連業界がスポンサーとなっている。

初日の基調講演1では東北大学、東北工業大学名誉教授の米山先生、及び基調講演2として総務省渡邊克也電波政策課長の講演があった。

本年はアメリカ発金融危機から始まった世界的経済危機のため資金源である出展企業数の減少とそれに伴う参加者も減少となったのは残念である。出展小間数 2008 年 230 小間に対して 2009 年 188 小間、参加者も 2008 年 6,402 人に対して本年は 5,825 人と約 20%の減少となっている。

以下いくつかのトピックスを写真と共に紹介する。

2. 基調講演

初日の基調講演1では東北大学、東北工業大学名誉教授の米山先生の“20年目を迎えた APMC/MWE—これまでとこれから—”と題して APMC 立ち上げ時のご苦労とその後の発展への歴史、中国やインドのこの分野での追い上げに対する今後の対応などについての講演があった。また、基調講演2として総務省渡邊克也電波政策課長より“2010年代の電波利用の将来展望とその課題—電波新産業創出戦略—”と題した講演があった。



Fig. 1. 基調講演 米山名誉教授



渡邊克也電波政策課長

3. 2009 年 IEEE MTT-S Japan/Kansai Chapter Young Engineer Award

開催2日目の11月26日にマイクロ波の理論及び技術の分野に貢献する論文を発表した38歳以下の若手の研究者・技術者の表彰が行われた。これは植之原道行記念賞でもあり MWE2009 開催に合わせて行われた。

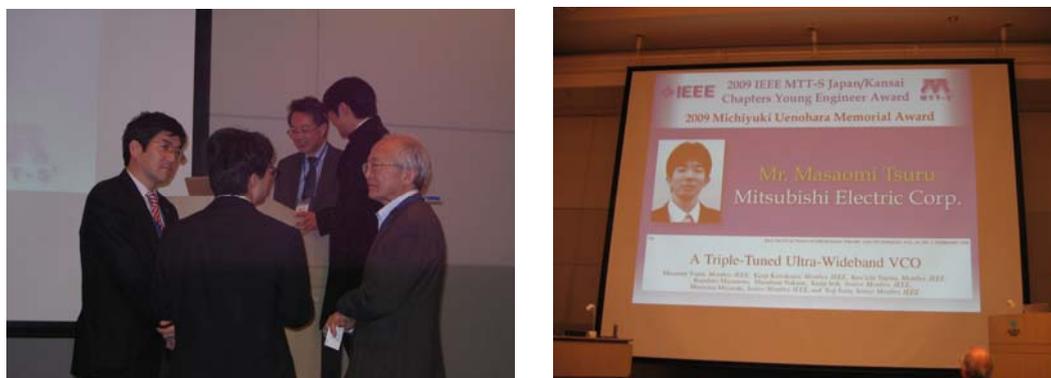


Fig. 2. 2009 年 IEEE MTT-S Japan/Kansai Chapter Young engineer Award



Fig. 3. 表彰状授与者と受賞者



栗井先生 受賞者 橋本先生

4. 展示会場

展示コーナーでは企業展示の他に特別企画展示、特別企画セミナー、大学展示コーナーが企画展示された。通信とその関連業界がスポンサーとなっている。展示への出展社数と小間数は約 140 社 188 小間と言う規模であり 2008 年度に比較し約 20 %減となった。



Fig. 4. 展示風景 その1



Fig. 5. 展示風景 その2

5. APMC2010 の開催について

1986年に第1回の APMC がインドのニューデリで開催された。以後アジア各地で隔年毎に開催されている。日本では4年毎に開催されることとなっている。1992年より毎年アジア太平洋地域のどこかで開催される事となった。これまで日本での開催は、1990年東京、1994年千葉、1998年東京、2002年京都、2006年再び横浜、そして2010年に横浜にて開催されることとなった。外国人は京都での開催に人気があるが、出展企業と参加者数では横浜が好位置であり横浜での開催となっている。

出展者レセプションでは APMC2019 の開催について初期の日本開催でご苦労された米山東北大学名誉教授と現在マイクロ波工学の発展に中心となって活躍されている荒木東工大教授が真剣に打ち合わせされている状況が見受けられた。



Fig. 6. 出展者レセプションに於ける米山名誉教授と荒木東工大教授